

先の 4 月 19 日(日)に行われた新試験制度 1 回目となる平成 21 年春期の情報処理技術者試験について、先月発表された IT パスポート / 基本情報 / 初級シスアド試験以外の 6 試験の合格発表がありました。同時に発表されたスコア分布などの統計データをもとに、データベーススペシャリスト試験の合格発表コメントをお知らせします。

データベーススペシャリスト試験 (DB)

〔平成 21 年春期のデータベーススペシャリスト試験 統計情報〕

応募者	18,538 人
受験者	11,887 人
合格者	1,912 人
合格率	16.1%

データベーススペシャリスト試験は、従来のテクニカルエンジニア(データベース)試験と同等のレベル、内容で実施される試験です。

新試験制度で第 1 回目の実施となる平成 21 年春期のデータベーススペシャリスト試験では、昨年の平成 20 年春期のテクニカルエンジニア(データベース)に比べ応募者はほぼ同じです(正確には 700 人増)。合格率は昨春のテクニカルエンジニア(データベース)試験の 11.4%に比べると 4.7%増で、過去最高の値となっています。

なお、今回の新試験から従来の午前試験が午前 と午前 の試験に分かれました。

〔午前 の高度試験 共通問題〕

・高度試験に共通して出される問題 30 問は、すべて応用情報技術者試験(AP)から選ばれていました。過去問題の比率は約 6 割で、新試験になったことが理由とされますが従来より少なくなっています。

・新傾向または新しい用語に関する問題は次のとおりです。

問 7 (= AP 問 21) 代表的な OSS,

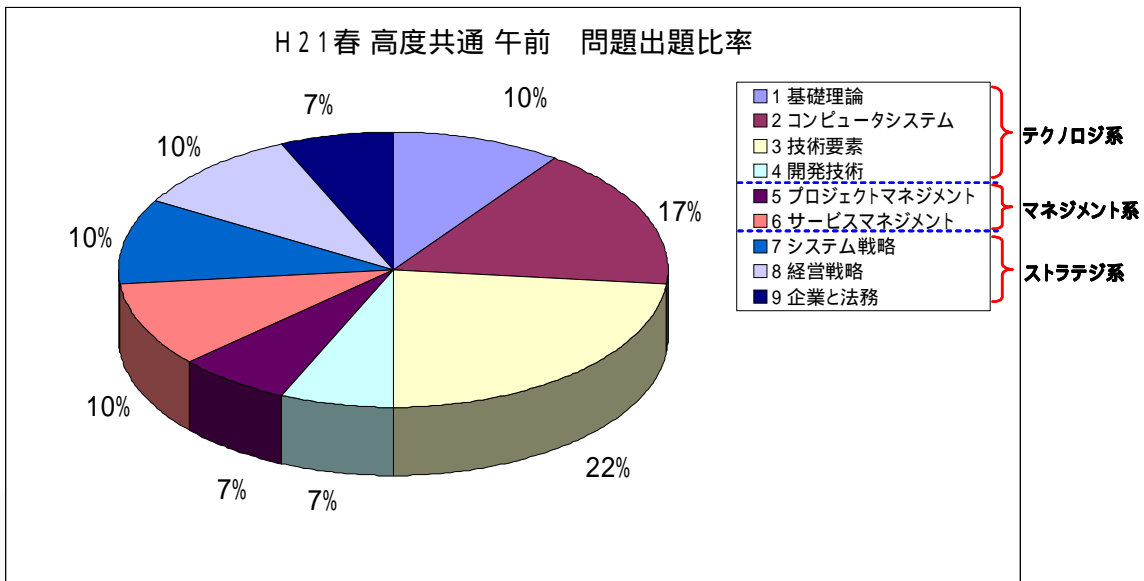
問 9 (= AP 問 25) Web ページに情報を表示する目的

問 11 (= AP 問 32) 概念データモデルの解釈 (UML 記法),

問 15 (= AP 問 41) 不正侵入のための経路 (バックドア),

問 27 (= AP 問 70) TLO 法 (大学等技術移転促進法)

平成 21 年春期の高度試験共通 午前 問題出題比率

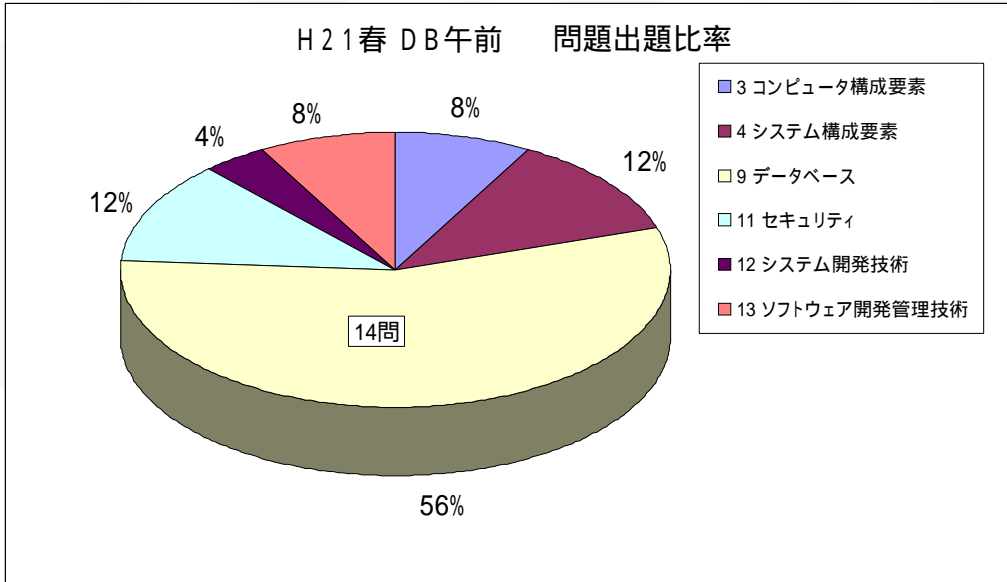


〔午前 の専門知識問題〕

午前 試験は基本的な問題が多く ,データベースの専門知識の出題数は 14 問で予想よりも少なかったと言えます。このうちの 12 問は過去に出題された問題でした。

問 15 の DNS キャッシュポイズニングの問題が新傾向でした。

平成 21 年春期のデータベーススペシャリスト試験 午前 問題出題比率



〔午後問題〕

- ・ 午後 問題の出題分野とテーマは、次のとおりです。今回から出題数が 4 問から 3 問に減り、解答数も 3 問から 2 問に減りました。しかし、1 問あたりの設問数が増えていたので、受験者負担はあまり軽減されませんでした。
- ・ 出題内容の特徴としては、従来出題されていた物理データベース設計の出題がなかったことです。全体にやや難問題だったといえます。

問 1 データベースの基礎理論（診療情報の共有・交換） やや難

問 2 データベースの設計（部品製造業の生産管理） やや難

問 3 変更履歴を記録するテーブル（銀行の顧客テーブル） 普通～やや難

- ・ 午後 問題の出題分野とテーマは、次のとおりです。運用関連の出題が久しぶりでした。2 問とも解答分量が多く全体にやや難問題でした。

問 1 銀行の届出印管理システムのデータベース設計・運用 やや難

概念データモデルのサブタイプの記述，リレーションシップの追加，追加テーブルの構造，検索手順，制約の追加，障害発生時の影響と復旧方法，バックアップ作業・管理の負荷

問 2 カタログ通信販売業務の概念データモデル作成 普通～やや難

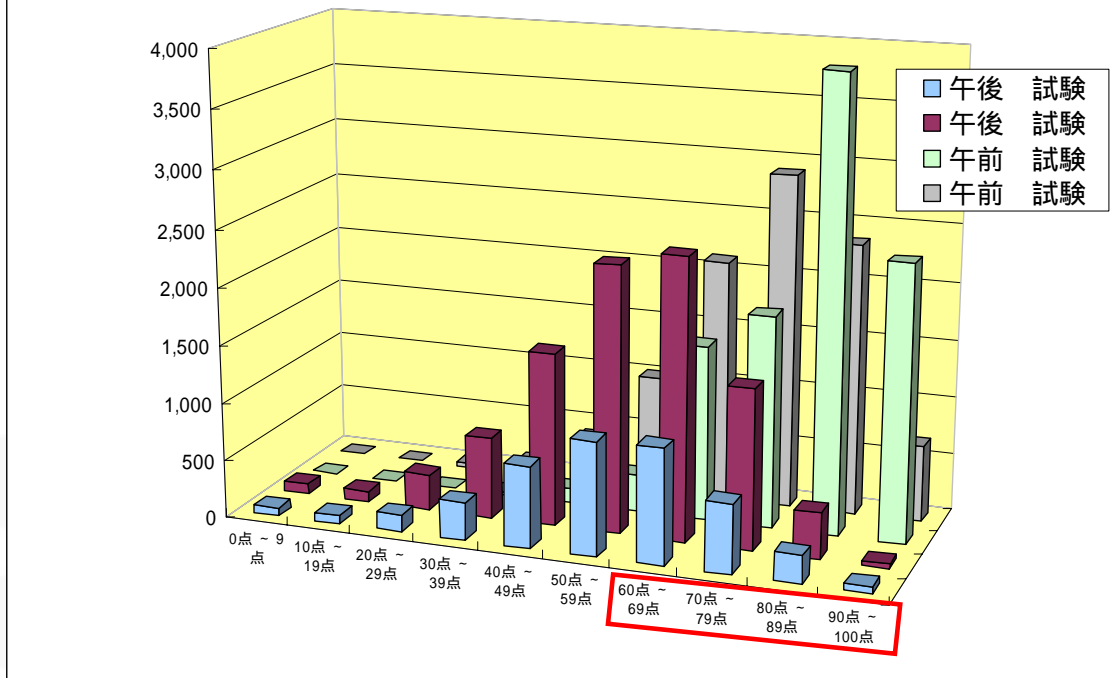
概念データモデル作成，エンティティタイプ名，リレーションシップの追加，関係スキーマの記述

〔平成 21 年春 データベーススペシャリスト試験 スコア分布〕

得点	午前 試験	午前 試験	午後 試験	午後 試験	合格者
0 点 ~ 9 点	3	0	95	65	
10 点 ~ 19 点	4	1	94	74	
20 点 ~ 29 点	35	7	312	149	
30 点 ~ 39 点	120	19	703	330	
40 点 ~ 49 点	399	128	1,504	708	
50 点 ~ 59 点	1,013	322	2,307	986	
60 点 ~ 69 点	2,098	1,519	2,434	1,002	
70 点 ~ 79 点	2,898	1,835	1,384	602	
80 点 ~ 89 点	2,348	3,898	403	248	
90 点 ~ 100 点	668	2,382	38	60	
計	9,586	10,111	9,274	4,224	1,912
対前試験比率		105.5%	91.7%	45.5%	45.3%
午前 免除者(概数)	2,099				

合格者数	1,912	採点者数の割合	合格者数との差
午前 60 点以上合計	8,012	83.6%	6,100
午前 60 点以上合計	9,634	95.3%	7,722
午後 60 点以上合計	4,259	45.9%	2,347
午後 60 点以上合計	1,912	45.3%	0

平成21年春 データベーススペシャリスト試験 得点分布



得点分布を分析してみると、高度系共通の午前試験で基準点(60点)の人は8,012人受験者の83.6%、午前試験で基準点以上の人は9,634人(受験者の95.3%)と非常に高率になっており、問題の難易度としては全体に易しかったといえます。他の高度試験でも同じような傾向があり、今後は午前、午前試験ともに、難易度が上がっていくのではと予想されます。また、午前試験で基準点以上の人は、2年間午前試験が免除になるので、次回の午前を受ける人は全受験者の2~3割程度に減少すると予想されます。

午後で基準点(60点)以上取れた人はそれぞれ45.9%で、昨春のテクニカルエンジニア(データベース)の53.5%に比べて8%ほど下がっており、前回よりもかなり難しかったことを表しています。午後で基準点(60点)以上取れた人は45.3%で、前回の43.8%と大差はありませんでした。

午後の試験で合格スコアに至らなかった方は、次回試験の対策として、専門知識分野で「午前試験で出題される知識の理解度をまず上げ」、その次に、「午後試験で必要とされている知識を題材として、さらに深く学習する」のがよいでしょう。

今回合格された人

合格された方で秋のネットワークスペシャリストやシステムアーキテクト、ITストラテジスト、ITサービスマネージャ試験を目指す方は、まず午前の専門知識について、なるべく早く試験対策を始められることをお勧めします。

新試験のシステムアーキテクト、ITストラテジスト、ITサービスマネージャ試験を受けられる方は、新試験の内容や出題範囲をよく理解して学習することが必要です。これらの試験は、午後が論述式で、合格するために第三者の添削が欠かせません。アイテックの通信教育では必要なテキスト、模擬試験に加え、論文添削も行っていますので、ぜひご利用ください。

アイテックで出版している試験対策用の教科書(基礎テキスト)は新試験用にレベルごと分野ごとに新たに編集し直したものです。また、出題ポイントを効率的に学習するための「合格への総まとめ」、各試験別の予想問題集、本試験問題は新試験対策用に大改訂しています。これらすべて

ての書籍が書店またはアイテックの Web ページでご購入いただけます。ぜひご利用下さい。

通信教育コースでは、教科書、問題集、模擬テスト（論文あり試験では添削含む）をすべて含んだ標準学習期間6か月の「総合コース」と、問題演習を中心に行うための最新問題集と模擬テスト（2回）を含んだ標準学習時間4か月の「速習コース」（短期コース）、午後 試験免除者対象に午後問題を重点的に学習する「免除者コース」など、教育メニューをたくさん用意しておりますので、ぜひご利用ください。

試験対策を受験対策のプロ講師がセミナーで行う「合格ゼミ」は試験対策のノウハウや専門知識の理解が深まると好評を頂いており、お勧めです。締切の近いセミナーもありますので、急いで確認しましょう。

各コースの内容は弊社のホームページからご覧いただけます。

<http://www.itec.co.jp/>

「合格への最短コース！ 合格ゼミ」

満員御礼になったコースもあります。お早めにお申込みください。

<http://www.itec.co.jp/howto/seminar/index.html>

今回残念ながら不合格だった人

まず、自分がよく理解していない内容について早めの学習が必要です。苦手な分野は、アイテック刊行の新試験用のレベル3の教科書（通信教育教材）でじっくり学習しましょう。

今回の午前試験の得点が50点～59点の人は、合格までほんとうに“あと一歩”のところまで実力が来ていますので、学習した知識が薄れないうちに、早めに次回試験の対策として復習を行い、新たに加わった分野の学習を始めましょう。

また、午後試験の得点が60点に満たなかった人は、まず午前 の専門知識レベルで、午後試験問題を解答するのに必要な知識を確実に理解してください。

次に確実な解答を出すために、落ち着いて問題を解き、解答が正しいかを検証する力を付けましょう。新試験では選択範囲が広がったことで解答しやすくなるとも言えますので、チャンスが広がると考え、早めに対策を行いましょう。

なお、午後試験に強くなるには、時間を決めた問題演習やアイテックの模擬試験を会場で受けるなど、試験会場の環境を考えたくて問題を解く訓練を行うのが有効です。

この他、アイテックで出版している「午前に出る情報技術」や予想問題集、試験対策を受験対策のプロ講師がセミナーで行う「合格ゼミ」、通信教育コースでは、午前試験対策テキスト、テスト（論文あり試験では添削含む）をすべて含んだ標準学習期間6か月の「総合コース」と、問題演習を中心に行うための最新問題集と模擬テスト（2回）を含んだ標準学習時間4か月の「速習コース」（短期コース）、午後 試験免除者対象に午後問題を重点的に学習する「免除者コース」など、教育メニューをたくさん用意しておりますので、ぜひご利用ください。

各コースの内容は弊社のホームページからご覧いただけます。

<http://www.itec.co.jp/>

「合格への最短コース！ 合格ゼミ」

満員御礼になったコースもあります。お早めにお申込みください。

<http://www.itec.co.jp/howto/seminar/index.html>

（以上）